

## 令和4年度総体東信大会 大会運営方法等について

以下は、長野県教育委員会が定めた「新型コロナウイルス感染症に係る県立学校運営ガイドライン」に基づいて、東信高体連バドミントン専門部で策定したものである。

### 【大会開催の条件等】

- ・37.5℃以上の発熱や咳・咽頭痛などの風邪症状、だるさや息苦しさ、味覚や臭覚の異常など体調不良の場合は医療機関を受診し、大会参加についてはその指示に従うこと。
- ・4月28日(木)付けで長野県教育委員会より示された改訂版の「新型コロナウイルス感染症に係る県立学校運営ガイドライン」のなかで、以下の1, 2のような概要の新たな特例措置が発表されました。この特例措置について東信高体連バドミントン専門部としていかに具体的に運用していくかは、「大会に参加できない選手を最大限減らす」ことを目標に今後細部を詰めて皆さんにお示ししますので、しばらくお待ちください。
  - 1 陽性者及び※濃厚接触者および相当者 は参加できない。  
(※) 濃厚接触者および相当者とは  
「陽性者と接触があった者のうち、会話の際にマスクを着用していないなど感染対策を行わず飲食を共にした場合、またはそれと同程度に感染可能性が高いと見込まれる場合」に該当する生徒。
  - 2 学級・学年・学校が臨時休業期間になっている生徒のうち1以外の生徒は、公式大会等の前日又は当日に抗原定性検査を実施し陰性が確認できていることを条件に、公式大会等へ参加できるものとする。

### 【コロナウィルス対策としての運営方法】

- ・会場の三密を避けるため、以下の特別な対策を講じる。
  - ① 顧問・コーチ、その日の出場選手、補助員は入場できる。また、その日の出場選手+補助員を含めて男女それぞれ最大20人まで入場を可能とする。その際に3年生は優先して全員入場できる。保護者、一般、その他の部員は入場禁止とさせていただきます。ご理解のほど宜しくお願い致します。(保護者の入場制限はやむを得ないとはいえ、主催者としても断腸の思いで実施します。各学校毎に選手のプレーを映像に納め、後日保護者の皆様へ配布する等の配慮をお願い致します。)
  - ② 補助員は、審判等の要員として上田千曲、上田、上田染谷丘、上田東、の4校から男女それぞれ9名ずつ程要請する。会場の整備、消毒作業や審判補助等に当たる。
  - ③ 密集回避、審判人数減のため、審判の運営方法を柔軟に考える。(従来の4人制(主審、線審2人、サービスジャッジ(兼得点係))が難しい場合、3人制(主審(サービスジャッジを兼ねる)、線審2人(一人が得点係を兼ねる))も可とする。ただし、3人制をとる場合は特にしっかり練習を行っておく。
  - ④ ・活動場所の換気。常時2方向の扉及びカーテンの裏の窓を開けて換気を行う。また、2時間に一回ほどこまめに全面換気(1回につき10分程度、全扉、窓を開ける)をする。この際、放送で換気予定の時刻を予告し、予定時間の10分前に「換気予定10分前です。これ以降換気後まで新たな試合はコールしません。また、試合の途中であっても、今行っているセット終了後一端試合を中断し、換気後に再開してください。」と放送して、全コートの中断または終了を確認後、換気に入る。

- ⑤ 朝からドアと窓を全開し、換気した状態で開会式まで行う。
- ⑥ 開会式は、大会の格式や雰囲気をもつて高め、実施する。また、整列時には前後左右に約2mの間隔を空ける。
- ⑦ コーチ席の設置については、2席とする。
- ⑧ 今大会、更衣室は閉鎖され、使用できません。
- ⑨ ギャラリーや控え室での行動について
  - 1) ギャラリー座席は、可能な限り、前後左右を1席空けて着席する。
  - 2) マスクを着用する。ベンチ入りの選手もゲームに出ていない場合は、マスクを着用すること。
  - 3) 大声を出した応援はしない。拍手のみ。
  - 4) 昼食を取る場合は、できる限り屋外で、距離をとり食事をする。食事中は必ず黙って食すこと。

・**消毒や二次感染防止のため、以下の特別な対策を講じる。**

- ① 大会当日、顧問と生徒は全員、朝の検温をする。顧問は参加者全員の体調を把握し、健康状態確認シート(団体用)に大会前二週間からの状況を記載し、会場責任者に提出、報告する。卒業アルバム用写真の業者等が入館する場合は、参加者と同じように健康確認を提出してもらう。会場責任者は、体育館に報告。検温を忘れた者は、場外で顧問が検温する。当日体調不良のものは入場させない。
- ② 前日夜(又は当日朝)に専門委員が会場内の供用を避けることが難しい用具等を消毒する。当日、フロア外、トイレ入り口等に消毒液を配置し、入口ドア等を触る場合は必ず消毒して入り、消毒して出る。なお、体育館のフロアがアルコールにより変色してしまうため、手指消毒はフロア入り口の廊下側で、使用した鉛筆等の消毒はシートでフロアを保護した本部席でのみ行う。(フロア上で、消毒液のついた手を振ったりしない。)
- ③ シャトルは交換されるので消毒しない、また、飛びに影響があるので、できない。選手間の握手は無し。円陣等は行わない。
- ④ 本部席担当の先生より一人消毒担当となつていただき、体育館への入口で時々待機いただき、体育館へ入場する生徒すべてにアルコールによる手指消毒を促す。(アルコールの容器は複数置いておき、順番待ちがおこらないように配慮する。)
- ⑤ 試合の具体的な流れは以下の通り。1. 選手および審判はコールされたら本部席に向かう。審判にわたすバインダー、鉛筆は消毒しておく。(補助員の生徒が行う。) 2. コートに向かう。試合後本部席に戻り、そこでバインダーを補助員生徒に渡し、補助員生徒は別室にて消毒する。
- ⑥ PC作業を行う生徒もPCに触る前と作業終了時に手指消毒を行う。(フロアの外にて)
- ⑦ 試合時の荷物について。通常はコート横に荷物を入れるカゴを用意しますが不特定多数の選手が共用することを避けるため、今回も利用しません。その代わり、個人のラケットバッグなどをコート横に持ち込んで予備ラケット、水分補給用の水筒などを手元に置いておくようご指導ください。
- ⑧ 大会に参加する生徒及び顧問全員がマスク着用する。試合中のみ選手は外せるが、特にダブルスのペア間では、必要な場合以外話さない、話す場合も向かい合つて話さないなど感染予防に心がける。また、ペア間で握手やハイタッチ等の接触も行わない。
- ⑨ 顧問、コーチによる試合中のアドバイスは、選手と必要な距離をとつて行う。
- ⑩ 声を出しての応援はすべて禁止。(通常の音量でリズム無しの拍手のみ可能) 感染予防のため。また、雑

